

3. 主要な新規設備

平成19年度に設置した研究設備の中から、主要なものをご紹介します。

電力機器絶縁維持基準評価設備（第2期）

【設置目的】

経年電力機器の絶縁性能評価や現地試験等の評価手法の確立など、電力機器の絶縁性能維持基準を効率良く開発・評価するために各種の実機試験を行なう。

【概要】

霧中試験、注水試験を含む6kV～500kV級までの実機の高電圧試験、電気環境試験等を実施できる約30m角の高電圧ホールに交流電圧900kV、インパルス電圧2600kVの課電設備を有する。研究対象とする電力機器は、がいし（磁器、高分子）、変圧器、CVケーブル、ガス絶縁開閉装置等の実機等である。メインとなる高電圧ホールに加え、約7m角の高電圧ホールと、更に小規模な環境試験室を備え、小型の機器の試験も効率的に実施できる。

【主な仕様】

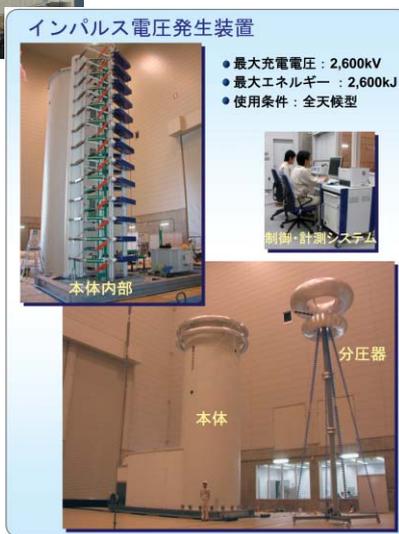
- (1) 建物
 - 高電圧ホール（大） 内寸：35mX31mX30m
 - 高電圧ホール（小） 内寸：7mX7mX7m
 - 両ホールとも蒸気噴霧により人工的に霧環境を模擬可能
- (2) 試験用変圧器
 - 交流900kV-2000kVA 単相50Hz
- (3) インパルス電圧発生器
 - 最大充電電圧 2600kV 全天候型

【設置場所・時期】

横須賀地区、平成20年7月



実験棟外観



2600kV インパルス電圧発生装置



900kV 試験用変圧器